



西幼だより

羽島市立西部幼稚園
令和3年7月12日 No. 8
園長 安藤賢治

「学ぶ」ことは、「真似る」ことから始まる ・・・だとすると？ ～この夏は！～

○ 一学期も残り一週余り。子どもたちの生活の中に成長を感じて、話題に事欠かない日々です。子どもたち、特に、年少さんは、「何が始まるのか、何をすればよいのか」など、全てが初めての中、やらねばならないことができるようになりました。先生からの教えだけでなく、友だちの行動からも学んでいます。実によく観察していて、試みと繰り返しの中で身につけています。



生活の中心の遊びでは、・・・。

・使った物は、片付ける。砂がついていれば、水槽で洗って、それぞれ選別して片付けます。

+ one: そのまま放置された道具を発見。誰かのですが、片付けてくれる園児がいます。給食では、・・・。

・配ぜん中は、座って待つ。挨拶をするまでは、食べたくても我慢です。

+ one: 「おいしいね。」誰かが言うと、続いて「おいしいね。」…笑顔が広がります。

トイレでは、・・・(今年度から全面改修されて、乾式で洋式。自宅と同様で抵抗感減少。)

・まず、上履きを脱ぐ。仕切り枠に揃えてから用便です。教室に戻るときは、手指消毒です。

+ one: パンツまで脱いで用便していた子が、いつの間にか便器の前で下げています。

“友だち”の存在って大きいですね。“家庭から幼稚園”に世界が広がったからこそ、身につくこと(成長)です。子どもたちの“か・ん・さ・つ”する力は、成長の根源力かもしれません。

* * * * *

☆夏休みは、42日間。“家庭”に帰ります。・・・ということは、「学ぶ 対象は“家族”」です。



◇我が子の「学び」は、「真似る対象次第」で、“成長”に響きます。・・・だとしたら？！

かく言う私自身、西部幼稚園では“園長先生”として気が張っていますが、普段は、正直???

・・・いつもは、なかなか弱くて緩い人間です。

あの「大谷祥平選手」のようにはいきません。ずば抜けた野球の成績以上に、注目されているのが“所作”です。ふるまい、身のこなし…。人として尊敬できる域ではないでしょうか。

・グラウンドのごみをずっと拾ってポケットに

・審判とキャッチャーに会釈してバッターボックスに

・真剣勝負で思いがけない事態が起きた時の、相手を思いやる表情しぐさ

・ファンへの対応(神対応) 笑顔

などなど。

▶個人的にこの夏は、特に、高校野球ファンの一人として、次世代の若者に「大谷祥平効果が、どれ程伝搬しているか」を見つけることも、TOKYO オリ・パラと同じくらい 楽しみな夏です。

～皆さんも、我が子に“我が姿”がどれだけ伝わっていくのか?・・・楽しみな夏の始まりです!～

♪ 9月：園児らとの再会が楽しみ♪